

(案)

伯耆の国よなご文化創造計画

(後期計画)

平成 25 年 月

米 子 市

目 次

第 1 章 後期計画の策定にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1 「伯耆の国よなご文化創造計画」の位置付けについて	
2 「伯耆の国よなご文化創造計画（前期計画）」の策定	
3 「伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）」の策定	
第 2 章 前期計画の評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
1 事業の実施状況	
2 事業の成果	
3 前期計画の総括について	
第 3 章 伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）・・・・・・・・	5
1 計画の推進に向けた基本方針及び主要施策	
2 施策・事業の実施	
第 4 章 後期計画の推進に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・	12

第1章 後期計画の策定に当たって

1 「伯耆の国よなご文化創造計画」の位置付けについて

「伯耆の国よなご文化創造計画」は、米子市・淀江町合併協議会により平成16年に策定された「米子市・淀江町 新市まちづくり計画」において重点プロジェクトとして取り組むことが掲げられました。

このプロジェクトのテーマは、「伯耆の国よなご歴史・文化ネットワークの構築」であり、主たる内容は、文化関係の拠点施設をネットワーク化し、各施設の情報を随時閲覧、情報発信、公開することで、市民や来訪者、研究者等の多様なニーズに応えようとするものでした。

また、この取組の前提として、文化関係施設の整備・充実等が掲げられていました。

2 「伯耆の国よなご文化創造計画（前期計画）」の策定

上記の位置付けを受け、本市では、平成19年3月に「伯耆の国よなご文化創造計画」を策定しました。

事業期間は15年間とし、具体的なスケジュールについては、前期（平成17年度から平成24年度まで）と後期（平成25年度から平成31年度まで）に分けて策定することとし、平成19年の段階で策定した当該計画（以下「前期計画」と言います。）では、前期のスケジュールのみを掲げることにしました。

3 「伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）」の策定

前期計画では、その基本理念について次のように記述しています。

「文化創造計画は、市民と行政の協働により、米子の歴史文化を見直し、育み、将来に向けて継承していくとともに、芸術文化をはじめ様々な文化活動を支援し、新たな文化の創造に向けた環境づくりと文化の発信拠点となることを目指します。

このことは、一人一人の市民が日々の暮らしの中でよなごの文化に触れ、豊かな心を育み、ゆとりや安らぎを実感することのできるまちを実現させていくものでなければなりません。」

後期のスケジュールの策定に当たっては、この理念を念頭に置きつつ、前期計画の進捗状況や情報化の進展などの情勢変化を踏まえた上で、推進すべき施策・事業の内容を検討することとしました。

その結果、改めて基本方針等を整理し、「伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）」（以下「後期計画」と言います。）を策定することとしたものです。

第2章 前期計画の評価

1 事業の実施状況

主要施策・事業		実施状況
1 歴史的文化の掘り起こし事業		
①	よなごの宝88選選定事業	A
2 文化活動の促進支援事業		
①	88フォトモール米子の景観88選選定事業	A
3 文化創造計画人づくり事業		
①	よなごの宝88探宝会・よなごの宝を語る会	A
4 文化施設等の整備事業		
①	山陰歴史館整備事業	C
②	美術館整備事業	B
③	図書館整備事業	B
④	埋蔵文化財センター整備事業	A
⑤	伯耆古代の丘整備事業(史跡上淀廃寺跡整備事業)	A
5 歴史的資料の整理とデジタル化事業		
①	歴史的資料の整理とデジタル化事業	A
6 文化情報ネットワークの構築事業		
①	文化情報ネットワークの構築事業	B

A・・・概ね実施できたもの

B・・・実施中のもの

C・・・未実施のもの

2 事業の成果

(1) よなごの宝 88 選選定事業 (別紙総括票 1 -)

地域に埋もれている史跡などの歴史的資産を掘り起こし、保護・活用を図るため、その中から代表的なものを「よなごの宝」として選定し、平成 21 年度に冊子を作成、配布しました。

(2) 88 フォトモール米子の景観 88 選選定事業 (別紙総括票 2 -)

市内の景観を対象とした写真を公募し、平成 19 年度から 4 回にわたりそれらの作品による写真展を商店街等で開催し、市民がよなごの良さを再認識する機会を提供しました。

また、平成 20 年度には、それらの応募作品の中から「よなごの景観 88 選」を選考し、入選作による展覧会を開催するとともに、平成 21 年度には写真集を刊行しました。

(3) よなごの宝 88 探宝会・よなごの宝を語る会 (別紙総括票 3 -)

「よなごの宝 88 選選定事業」で選定された「よなごの宝」について、平成 22 年度から現地の探訪を月 1 回開催するとともに、講座や座談会を隔月で開催しました。

(4) 山陰歴史館整備事業 (別紙総括票 4 -)

山陰歴史館の整備については、より活用される施設となるよう、施設機能の在り方を含めた検討を行うこととしたため、前期においては未実施となりました。

(5) 美術館整備事業 (別紙総括票 4 -)、図書館整備事業 (同 4 -)

米子市美術館については、バリアフリー化、展示パーテーションの改善、収蔵庫の拡張など、米子市立図書館については、施設を増床し、開架スペースや書庫の拡充をはじめとする機能充実を図ることとし、それぞれ市民の意見を反映するよう努めながら基本設計及び実施設計を進め、平成 24 年 5 月に両施設の整備工事に着手しました。

(6) 埋蔵文化財センター整備事業 (別紙総括票 4 -)

旧日新小学校校舎を活用し、埋蔵文化財の保管・保存、公開、調査・研究等の機能を持つ埋蔵文化財センターを整備し、平成 22 年 4 月に供用を開始しました。

(7) 伯耆古代の丘整備事業 (別紙総括票 4 -)

史跡上淀廃寺跡の整備を実施し、地形復元等を行いました。また、そのガイダンス施設を淀江歴史民俗資料館に整備することとし、施設全体を「上淀白鳳の丘展示館」と改称して平成 23 年 4 月にオープンしました。

(8) 歴史的文化資料の整理とデジタル化事業 (別紙総括票 5 -)

山陰歴史館、旧淀江歴史民俗資料館 (上淀白鳳の丘展示館)、福市考古資料館等が保有する資料について、整理・記録、デジタル化を進めました。

(9) 文化情報ネットワークの構築事業 (別紙総括票 6 -)

この事業は、文化関係の拠点施設をネットワーク化し、各施設の情報を随時に閲覧、情報発信、公開するものですが、その前提として、まず、文化関係施設の整備・充実等を図ることとしていたため、文化関連イベント情報の発信や文化関係施設のホームページとリンクした「米子市文化情報 Web」のメニューを追加するにとどまりました。

また、インターネットによる情報化の進展により、専用の情報提供システムを構築することが、幅広い情報の利用者から見た場合、必ずしも利用しやすいとは言えなくなっています。

既に、本市のホームページでは、リンクにより各施設の情報に容易にアクセスできるよう整備していることから、この事業については内容を見直していくことが必要と考えています。

3 前期計画の総括について

前期計画の推進状況については、一部に事業着手が遅れたものや未実施のものもありますが、文化施設の整備事業などの実施により、将来にわたる市民の文化活動に大きく寄与する進展があったと考えています。

今後は、未実施の事業や新規に取り組むべき事業について、その方向性や妥当性を検証しながら適切に対応していくことが必要です。

また、これまでに整備してきた文化施設の利活用を図るとともに、文化活動について市民の関心を深め参加を促す観点から、人材育成を念頭においたソフト事業の充実についても努めていく必要があります。

第3章 伯耆の国よなご文化創造計画（後期計画）

1 計画の推進に向けた基本方針及び主要施策

後期計画においては、前期計画の進捗状況等を踏まえ、本市の文化振興に不可欠な環境整備を計画的に推進するため、次のように基本方針及び主要施策を設定するものとします。

（1）文化活動・人材育成の推進

- 歴史・文化資産の活用
- 文化芸術活動への支援
- 文化芸術に親しむ機会の提供

（2）文化施設の整備・活用

- 文化芸術施設の整備・活用
- 歴史関連施設の整備・活用

（3）文化情報ネットワークの充実

- 文化関係情報の充実
- ネットワーク機能の充実

2 施策・事業の実施

主要施策ごとに、以下の施策・事業を実施します。

（1）文化活動・人材育成の推進

文化団体、市民団体の活動や団体間交流を支援するとともに、児童・生徒を始め市民が文化芸術に触れる機会を提供することにより、人材育成に努め、文化のまちづくりを推進します。

歴史・文化資産の活用

施策・事業名	事業概要	関係課
歴史的文化（よなごの宝）掘り起こし事業	よなごの宝88選選定事業により、地域から掘り起こした「よなごの宝」を広く市民に伝えるとともに、新たな宝を掘り起こすことにより、地域文化の振興に役立っています。	文化課

地域の歴史・文化探訪	市内にある歴史・文化資産をめぐる散策ルート・サイクリングルートの策定、現地ガイドの充実などにより、これら地域資源のPRと活用を図りながら、市民、来訪者に地域の歴史・文化に親しむ機会を提供します。	文化課
無形文化財の保存・伝承	「米子盆踊り」「日吉神社神幸神事」などの無形民俗文化財や「弓浜緋」「淀江傘伝承技術」などの無形文化財に対する活動支援を行うことによって保存・伝承を図るとともに、伝統的な行事、芸能、技術の普及、育成に努めます。	文化課 商工課

※ よなごの宝88選選定事業

伯耆の国よなご文化創造計画のソフト事業の一つで、よなごの宝88選実行委員会により、地域に埋もれている歴史的文化(よなごの宝)の掘り起こしと保存、継承及びこれら「よなごの宝」を活用した人づくり・まちづくりを推進することを目的とするもの。

文化芸術活動への支援

施策・事業名	事業概要	関係課
多様な文化活動への支援	米子市音楽祭や秋の文化祭の開催など、市民に多様な文化芸術活動の発表の場を提供します。	文化課
米子市文化奨励賞贈呈事業	地元文化の振興に貢献した個人・団体を選考し、米子市文化奨励賞を贈呈するとともに、受賞者を米子市ホームページ等で公表しその活動を紹介することにより、文化活動に取り組む市民の意識高揚を図ります。	文化課

文化芸術に親しむ機会の提供

施策・事業名	事業概要	関係課
芸術文化に親しむ機会の提供	公会堂、文化ホール、淀江文化センターにおけるイベント等の開催、美術館における展覧会の開催、その他出前講座の開催など、市民が優れた芸術文化を鑑賞できる機会の充実を図るとともに、芸術文化に関する積極的な情報提供を行います。	文化課
学校公演事業	子どもたちに国内外で活躍する優れた芸術（舞台オーケストラ・民族音楽など）の鑑賞や、その芸術文化団体等に実技指導を受けるなど、芸術に触れる機会を提供することにより、芸術を愛する心を育てるなど将来への可能性を育むことに努めます。	文化課 学校教育課
芸術活動支援事業	未就学児を対象に、アートスタートの機会を提供する団体やアーティストと連携して芸術文化をいかした事業を実施する団体に補助金を交付することにより、芸術文化を支えていくことのできる人材育成と文化を通じた地域づくりに努めます。	文化課
多様な文化芸術による地域の活性化への取組	漫画やアニメといったポップカルチャー等、多種多様な文化芸術イベントの開催支援や市民への情報提供を行うことにより、メディア芸術の振興に努めます。	文化課 観光課
児童文化センター運営事業	児童文化センターにおいて、子どもたちに遊びや文化活動の機会を提供します。	生涯学習課
子ども会活動を通じた文化伝承者の育成	子ども会などを対象に「田植え歌」「銭太鼓」などの郷土芸能や「方言」「浜かすり」「いただきの作り方」などの指導を通じ、子どもたちを地域文化の伝承者として育成します。	生涯学習課
ひとづくり・まちづくり推進事業	地域の世代間交流や人材育成を目的として地域住民が主体となって取り組んでいる「ひとづくり・まちづくり推進事業」を実施する中で、地域の伝統や地域文化の伝承者の育成に努めます。	生涯学習課

<p>図書館の地域資料を活用した子ども講座の開催</p>	<p>地域関係資料、行政資料及び特設文庫室の資料を活用するとともに、図書館の「伯耆民話の会」「古文書を楽しむ会」による子ども向け講座を開催することなどにより、子どもたちによなごの文化に触れる機会を提供します。</p>	<p>生涯学習課</p>
<p>史跡等を活用した学校教育の取組</p>	<p>上淀白鳳の丘展示館、埋蔵文化財センター、福市考古資料館、山陰歴史館などの施設を子どもたちが見学する機会を拡充し、古代文化や米子の歴史について理解を深めるなど学習に役立てます。</p> <p>また、埋蔵文化財センターが行う出前授業等を活用し、弥生時代後期から古墳時代中期の学習に役立てます。</p>	<p>学校教育課</p>

(2) 文化施設の整備・活用

文化施設が市民により親しまれ、利用されるよう、老朽化した文化施設の改修事業を実施するなど、整備を進めます。

淀江町福岡地区の伯耆古代の丘の上淀麿寺跡、向山古墳群などの史跡や山陰歴史館などの歴史関連施設の整備を実施します。

文化芸術施設の整備・活用

施策・事業名	事業概要	関係課
美術館整備事業	<p>利用者の安全確保と機能性・利便性向上を図るため、バリアフリーへの対応、展示用パーティションの改善、収蔵庫の拡張、喫茶スペースの設置などの改修工事を推進。</p> <p>平成25年8月のリニューアルオープン後は、市民が優れた芸術文化に触れる場として、また、市民ギャラリーとして、より快適に利用できる施設とします。</p>	文化課
図書館整備事業	<p>利用者の安全確保と機能性・利便性向上を図るため、耐震補強・バリアフリー化・開架スペースの拡大等の改修工事を推進。</p> <p>平成25年8月のリニューアルオープン後は、自動貸出機の設置、開館時間の延長などの利用者向けサービス提供の充実や図書、記録、視聴覚資料等の充実を図ることにより、市民の文化的教養を高めるための環境整備に努め、情報文化の発信拠点としての機能充実を図ります。</p>	生涯学習課
公会堂整備事業	<p>市民に長く愛される施設として安全性の確保、設備の充実など、施設機能の向上を図るため、耐震補強及び大規模改修工事を進めます。</p> <p>平成26年3月のリニューアルオープン後は、ホール機能の向上に加え、前庭・ホワイエの単独利用、会議室の分割使用も可能とするなど、市民の文化芸術活動の拠点として、より活用しやすい施設とします。</p>	文化課

歴史関連施設の整備・活用

施策・事業名	事業概要	関係課
上淀廃寺跡保存整備事業	<p>これまでの整備で残されている史跡の追加指定地について、説明板の設置などの整備を行います。</p> <p>また、学術的な面ばかりではなく学校教育や生涯学習、観光面での利活用に努めます。</p>	文化課
向山古墳群整備事業	<p>園路の整備、解説板の設置などを行い、伯耆古代の丘公園、上淀白鳳の丘展示館、上淀廃寺跡など、周辺の史跡や施設との一体的な利活用を図ります。</p>	文化課
山陰歴史館整備事業	<p>米子市の歴史館として、よなごの通史を学ぶことができ、城山のガイドンスや、下町散策の拠点施設として機能するよう整備します。</p> <p>また、山陰歴史館のある米子市役所旧館は、昭和5年（1930年）に建築されたもので、建設から80年以上経過しており建物の老朽化が進んでいることから、市指定文化財としての保護・保全を行います。</p>	文化課
埋蔵文化財保存活用事業	<p>埋蔵文化センターや福市考古資料館においては、遺跡めぐりの実施、考古学講座の開催及び土器づくり・勾玉づくりなどの体験講座を開催します。</p> <p>また、学校への出前授業、公民館等への出前講座を実施します。</p>	文化課
米子城跡整備事業	<p>米子城跡の計画的な保存・整備に努めるとともに、中心市街地にある貴重な都市空間として歴史学習の場を始め、市民への憩いや安らぎの提供、様々なイベントの実施など多目的な利活用にも対応できる史跡公園としての整備を進めます。</p>	文化課

(3) 文化情報ネットワークの充実

各文化施設が保有する歴史や文化に関する情報を整備し、情報発信するとともに市のホームページなど情報提供サイトの充実に努め、利用者の利便性の向上を図ります。

文化関係情報の充実

施策・事業名	事業概要	関係課
文化芸術関連施設等の情報提供サイトの充実	前期計画期間にデジタル化した資料を活用し、史跡や歴史関連施設等の本市の文化関連施設のホームページで収蔵資料を紹介するなど、情報提供サイトの充実に努めます。	文化課 生涯学習課

情報検索機能の充実

施策・事業名	事業概要	関係課
米子市ホームページの充実	市のホームページから、史跡や歴史関連施設等の本市の文化関連施設のホームページの閲覧や文化芸術に関する情報の検索などが容易に出来るよう、情報提供サイトの充実に努めます。	文化課 生涯学習課

第4章 後期計画の推進に向けて

本計画を推進していくためには、行政、市民、文化芸術団体、教育機関など、文化芸術に関わる様々な主体が、それぞれの役割や責任を認識しながら、相互に連携し協働していくことが重要です。

中でも行政は、その地域の特性に応じた施策を策定し実施することにより、文化芸術の主体である市民の文化活動を支援し、文化創造のための環境整備に努めることにあります。

また、文化関連事業は、人づくりのための環境整備事業であり、その特性から、長期的・計画的な視野で継続性を重視しながら計画の推進に取り組んでいく必要があります。そして、文化施設の整備・活用に関しては、文化部門以外に、まちづくりや観光など関連部門との連携が重要となることから、庁内において関係各課相互の連携を図りながら計画の推進に努めることとします。

文化創造計画（後期計画）スケジュール

区 分	後 期 （平成 25 年度から平成 31 年度まで）							備 考
	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
(1) 文化活動・人材育成の推進	歴史・文化資産の活用（歴史的文化（よなごの宝）掘り起こし事業、地域の歴史・文化探訪、無形文化財の保存・伝承） 文化芸術活動への支援（よなごの宝 8 選実行委員会への支援、多様な文化活動への支援、米子市文化奨励賞贈呈事業） 文化芸術に親しむ機会の提供（芸術文化に親しむ機会の提供、学校公演事業、芸術活動支援事業、多様な文化芸術による地域の活性化への取組、児童文化センター運営事業、子ども会活動を通じた文化伝承者の育成ひとづくり・まちづくり推進事業、図書館の地域資料を活用した子ども講座の開催、史跡等を活用した学校教育の取組）							
(2) 文化施設の整備・活用	文化芸術施設の整備・活用（美術館整備事業、図書館整備事業、公会堂整備事業） 歴史関連施設の整備・活用（上淀廃寺跡保存整備事業、向山古墳群整備事業、山陰歴史館整備事業、埋蔵文化財保存活用事業、米子城跡整備事業）							
美術館整備事業	→ 整備工事							平成 25 年 8 月供用開始
図書館整備事業	→ 整備工事							平成 25 年 8 月供用開始
公会堂整備事業	→ 整備工事							平成 26 年 3 月供用開始 （予定）
上淀廃寺跡保存整備事業		← 実施設計		→ 水路、障がい者用駐車場整備				
向山古墳群整備事業				← 史跡追加指定	→ 用地取得	→ 実施設計	→ 園路整備等	
山陰歴史館整備事業			← 基本設計	→ 実施設計				
米子城跡整備事業	← 計画策定基礎資料 収集	→ 用地・路線測量 不動産鑑定	→ 測量、植生調査、 遺構調査	→ 史跡追加指定	← 用地取得	← 用地取得	← 整備工事	用地取得（H30～H32） 整備工事（H31～H35）
			→ 保存管理計画策定	→ 基本計画策定				
(3) 文化情報ネットワークの充実	文化関係情報の充実（文化芸術関連施設等の情報提供サイトの充実） 情報検索機能の充実（米子市ホームページの充実）							

伯耆の国よなご文化創造計画 事業別総括票

1 歴史的文化の掘り起こし事業

事業名	よなごの宝 88 選選定事業		
関係課	文化課		
事業概要	<p>地域に埋もれている文化財を市民自らが掘り起こし「よなごの宝 88 選」の選定に参加することで、それらを保護し、活用したまちづくりを行うことの機運を醸成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民自らが本市の有する歴史文化についての認識を深めること。 ・文化財などを大切にす機運の高揚を促すこと。 ・地域に対する親しみや愛着心を育むこと。 ・文化財などを保護し、将来に向けて継承していくための市民団体を市内の各地域につくる機会を提案すること。 		
事業期間	当初	平成 19 年度～平成 21 年度	
	実績	平成 19 年度～平成 21 年度	
年度別 実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H19	実行委員会設置、講演会・シンポの開催	754
	H20	講演会、シンポ、宝の選定	460
	H21	宝選定、冊子発刊 発刊部数 500 部	500
	合計		1,714
主な成果	<p>地域に埋もれている史跡などの文化財を掘り起こし、調査を行い基礎的な資料集成が実施でき、その中から地域の宝の紹介を目的として、代表的な 88 選を抽出し、冊子を作成し、配布した。</p> <p>配布数 500 部</p> <p>成果を活かし現地探訪(探宝会)を毎月 1 回開催し、よなごの宝を語る会を隔月に 1 回開催し、「文化創造人づくり事業」につながる事業展開を図っている。</p>		
今後の課題、 方向性等	<p>全市的な宝の掘り起こしは実施できたが、今後は、88 選で紹介できなかったものやそれぞれの地域の宝のさらなる掘り起こし及び活用する動きの醸成が課題である。</p>		
備考	<p>冊子「よなごの宝 88 選」は実行委員会により随時増刷され書店等で有償頒布されている。</p>		

2 文化活動の促進支援事業

事業名	88 フォトモール米子の景観88選選定事業		
関係課	文化課		
事業概要	<p>市内の様々な景観を見つめ直す機会を提供し、市民文化の振興を図ることを目的として、「写真文化」に着目し、景観をテーマとした市民からの公募による写真展を商店街などで開催した。</p> <p>応募された写真でフォト・コンテストを実施し、入選作品による「88 Photomall よなごの景観88選」写真集を刊行した。</p> <p>当該事業は、市民と行政で実行委員会を組織し実施した。</p>		
事業期間	当初	平成19年度～平成21年度	
	実績	平成19年度～平成21年度	
年度別実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H19	実行委員会設置、88 フォトモール写真展の開催(第1回～3回)	1,400
	H20	88 フォトモール写真展の開催(第4回) よなごの景観88選の選考、入選作「米子の景観88」展覧会の開催	540
	H21	よなごの景観88選写真集の作成	1,294
	合計		3,234
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ フォト・コンテストにより、米子市のよさを再認識することができ、自分たちが暮らす地域に対する親しみや愛着心を育むことができた。 ・ 「よなごの景観88選」選びをすることにより、新市の一体感を醸成する一助となった。 ・ 市民と行政が一体となった写真展等を実施することにより、文化艺术活動の活性化を促進することができた。 ・ 選ばれた「よなごの景観88選」の写真を題材にした写真集を市民有志の手によって作成することによって、市民意識を発揚させることができた。 		
今後の課題、方向性等	さらなる芸術文化活動の活性化と振興をいかに支援し人材育成につなげていくのが課題である。		
備考	実行委員会が主体的に事業を行っている。		

3 文化創造計画人づくり事業

事業名	よなごの宝 8 8 探宝会・よなごの宝を語る会		
関係課	文化課		
事業概要	<p>歴史的文化の掘り起こし事業として実施した「よなごの宝 8 8 選定事業」の成果を活用し、市民で組織した実行委員会で現地探訪(探宝会)を月 1 回開催するほか、講座、座談会として、よなごの宝を語る会を隔月に 1 回開催している。</p> <p>地域の宝を掘り起こし、活用する動きを醸成し、市民自ら企画し、実践できる人材の育成につながる事業展開を図っている。</p>		
事業期間	当初	平成 22 年度～平成 24 年度	
	実績	平成 22 年度～平成 25 年度	
年度別 実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H22	よなご 8 8 探宝会開催(7 月～3 月、9 回) よなごの宝を語る会 7 回	0
	H23	よなご 8 8 探宝会開催(4 月～3 月、12 回) よなごの宝を語る会 6 回	0
	H24	よなご 8 8 探宝会開催(4 月～3 月、12 回) よなごの宝を語る会 6 回	0
	H25	よなご 8 8 探宝会開催(4 月～3 月、12 回) よなごの宝を語る会 6 回 (予定)	0
	合計		0
主な成果	探宝会には、毎回 30 名程度の参加がある。また、宝を語る会にも 20 名程度の参加があり、地域の宝の理解につながっている。		
今後の課題、 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加の実行委員会であるが、自主的に活動ができるまでには至っておらず、息の長い活動にするためには、実行委員会の独り立ちが必要である。 ・地域の宝の理解にとどまっており、さらなる地域の宝を掘り起こし、それを活用していく人材の育成及び活用する動きの醸成につながる展開を図っていく必要がある。 		
備考			

4 文化施設等の整備事業

事業名	山陰歴史館整備事業		
関係課	文化課		
事業概要	文化財の保護と活用を促進するため、良好な施設環境の維持と様々な歴史文化に関する事業を展開し、歴史文化の拠点施設としての機能を担うために整備事業を実施する。		
事業期間	当初	平成 20 年度 ~ 平成 23 年度	
	実績	未実施	
年度別 実施状況	年度	実 施 内 容	事業費(千円)
	H20		
	H21		
	H22		
	H23		
	H24		
	合計		
主な成果	事業未実施		
今後の課題、 方向性等	文化創造計画後期計画の中で施設のあり方の検討も踏まえた整備計画を策定し、実施する。		
備 考			

事業名	美術館整備事業		
関係課	文化課		
事業概要	<p>米子市美術館は、昭和58年に開館し、郷土作家を中心に、版画、彫刻、写真等1700点余りを所有し、展覧会、米子市秋の文化祭等にも利用され、誰もが気軽に利用できる市民ギャラリーとしてのコンセプトを持つ市民に親しまれる美術館となっている。</p> <p>現在、開館後30年近くを経過し施設内部の老朽化も進み、収蔵品の増加、市民ニーズの変化にも対応し、今後も市民に親しまれる芸術・文化の情報発信と活動の拠点として、美術館の機能を充実させるための整備を実施する。</p> <p>・バリアフリー化の推進 ・展示パーテーションの改善 ・空調設備等のリニューアル ・収蔵庫の拡張 などの整備を設計に盛り込んだ。</p>		
事業期間	当初	平成19年度～平成22年度	
	実績	平成22年度～平成25年度	
年度別実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H22	基本設計	
	H23	基本設計 27,825 実施設計 54,180	82,005
	H24	旧二中解体、増築工事、周辺整備	650,000
	H25	増築工事、周辺整備(予定)	228,426
	合計	事業費は図書館整備費を含む	960,431
主な成果	平成24年5月に美術館整備工事に着手した。		
今後の課題、方向性等	美術館を創作活動の拠点、発表の場として位置付け、地元芸術活動の発展にいかにつなげていくのか、また、美術普及事業を見直し、小中学生中心の講座や体験型講座の開設など整備後の活用方法の検討が必要である。		
備考			

事業名	図書館整備事業		
関係課	生涯学習課		
事業概要	<p>図書館は建築後30年以上経過しており、蔵書、資料等、収蔵品の増加による施設の狭隘化や、耐震対策、バリアフリーなどに対応するため既存施設のリニューアルを行なうほか、本市中心地の立地条件と美術館との隣接、歴史館との近接により、文化ゾーンを形成している利点を生かして、中心市街地活性化計画においても、エリア内施設の相乗効果による集客を図ろうとしており、図書館がより活用できるよう整備を実施する。</p>		
事業期間	当初	平成19年度～平成22年度	
	実績	平成22年度～平成25年度(予定)	
年度別 実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H22	基本設計	
	H23	基本設計 27,825 実施設計 54,180	82,005
	H24	旧二中解体、増築工事、周辺整備	650,000
	H25	増築工事、周辺整備	228,426
	合計	事業費は美術館整備費を含む	960,431
主な成果	平成24年5月に図書館整備工事に着手した。		
今後の課題、 方向性等	リニューアルした施設の効果的な活用や、蔵書の充実のほか、開館時間の延長、ICタグによる新貸し出しシステムの導入など、運営体制の充実により利用者の利便性の向上を図る。		
備考			

事業名	埋蔵文化財センター整備事業		
関係課	文化課		
事業概要	旧日新小学校校舎(鉄筋コンクリート造3階建 延床面積2,720㎡)を活用し、埋蔵文化財を中心とした文化財の適切な保管・保存、公開・活用、調査・研究機能を持つ施設を整備し、平成22年4月に供用を開始した。		
事業期間	当初	平成18年度～平成20年度	
	実績	平成18年度～平成21年度	
年度別実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H18	書庫、展示室、研修室、収蔵室等整備	22,027
	H19	特別収蔵庫、資料整理室、閲覧室、特別収蔵庫、写場等整備	18,908
	H20	展示室、調査研究室、保存処理室等整備	19,626
	H21	遺跡模型、解説パネル、ジオラマ等設置	7,449
	合計		68,010
主な成果	旧日新小学校校舎を活用し、埋蔵文化財の保管・保存、公開、調査・研究等の機能を持つ埋蔵文化財センターを整備し、平成22年4月に供用を開始した。		
今後の課題、方向性等	他の歴史関係施設、学校教育、生涯学習との連携強化をいかに図り、活用していくのが課題である。		
備考			

事業名	伯耆古代の丘整備事業(史跡上淀廃寺跡整備事業)		
関係課	文化課		
事業概要	<p>国指定史跡が集中する淀江町福岡地区の史跡の保存・活用を図る「伯耆古代の丘整備事業」の一環として実施している。</p> <p>平成16年度から平成24年度までの予定で補助事業を活用し、上淀廃寺跡の地形復元、中心部の出土状況再現、遺構復元、便益施設整備、ガイダンス施設整備、金堂、壁画、仏像の復元等を計画し、年次的に整備を進めている。</p>		
事業期間	当初	平成16年度～平成22年度	
	実績	平成16年度～平成24年度	
年度別実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H16	地形測量、地質調査、芝張、確認調査	28,112
	H17	休憩施設、園路、ガイダンス基本設計	56,900
	H18	追加指定地買上、遺構盛土	110,040
	H19	追加指定地買上、解説版、遺構盛土	55,395
	H20	追加指定地買上、中心伽藍整備、ガイダンス展示設計、	74,106
	H21	回廊、解説広場、ガイダンス建築工事	46,188
	H22	ガイダンス建築工事、展示工事	213,989
	H23	地形模型、総合説明板、便益施設建築	89,663
	H24	植栽、地形測量	2,754
合計		677,147	
主な成果	<p>史跡上淀廃寺跡の現地整備では、発掘調査の成果に基づき盛土した上に当時の地形を復元し、建物跡等の表示、出土状況の忠実な再現、創建時の復元を実施した。</p> <p>ガイダンス展示施設を整備し、上淀廃寺の金堂内部を出土状況・出土品から推定復元し展示を行った。</p> <p>これらの成果から、当時の姿を疑似体験できる空間が創出でき、来訪者が当時の歴史を理解できる施設となった。</p>		
今後の課題、方向性等	<p>妻木晩田遺跡や周辺観光施設との連携が十分でないため、ソフト事業の実施など活用面を重視し、強化していく必要がある。</p> <p>駐車場の確保、追加指定地等の整備を検討し、実施する必要がある。</p>		
備考	<p>後期計画の中で、向山古墳群整備と上淀廃寺跡追加指定地の整備を予定している。</p>		

5 歴史的資料の整理とデジタル化事業

事業名	歴史的資料の整理とデジタル化事業		
関係課	文化課		
事業概要	<p>山陰歴史館・淀江歴史民俗資料館・福市考古資料館及び埋蔵文化財センターの機能と役割分担を明らかにする中で、それぞれ施設が保有する資料をデジタル・アーカイブ化に向けて整理、記録し、保存を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設が保有する資料の現況の調査 ・適切な保存方法の確立と資料の整理方法の統一化、デジタル化 		
事業期間	当初	平成 19 年度～平成 22 年度	
	実績	平成 19 年度～平成 24 年度	
年度別 実施状況	年度	実施内容	事業費(千円)
	H19	整理、調査資料のデジタル化、台帳登録	995
	H20	整理、調査資料のデジタル化、台帳登録	983
	H21	整理、調査資料のデジタル化、台帳登録	3,393
	H22	整理、調査資料のデジタル化、台帳登録	15,117
	H23	整理、調査資料のデジタル化、台帳登録	12,270
	H24	整理、調査資料のデジタル化、台帳登録	4,872
	合計		37,630
主な成果	歴史関係施設が保有する資料を整理、記録とデジタル化がほぼ完了し、資料の活用に資することができるようになった。		
今後の課題、 方向性等	成果をどのように活用するのか、「文化情報ネットワークの構築事業」での方策の検討が必要である。		
備考			

6 文化情報ネットワークの構築事業

事業名	文化情報ネットワークの構築事業		
関係課	文化課		
事業概要	<p>芸術文化や歴史文化に限らず、学習やイベントに関する情報など一元的に提供できる情報ネットワークを構築し、市の内外を問わず容易に伯耆の国よなごの文化を発信できるホームページを開設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報提供システムの設計と開発 ・ 情報提供システムの構築と維持管理及び活用促進体制の確立 		
事業期間	当初	平成 19 年度～平成 24 年度	
	実績	未実施	
年度別 実施状況	年度	実 施 内 容	事業費(千円)
	H19	文化情報 Web 内容拡充	
	H20	文化情報 Web 運営	
	H21	文化情報 Web 運営	
	H22	文化情報 Web 運営	
	H23	文化情報 Web を米子市ホームページに移行	
	H24		
	合計		
主な成果	平成 19 年度に文化情報の発信と文化関連施設のホームページにリンクするサイト「文化情報 Web」の内容を拡充し、平成 23 年度にその機能を米子市ホームページに移行した。		
今後の課題、 方向性等	<p>内容を検討し、後期計画での位置づけを図る。</p> <p>情報ネットワークについては、文化施設の整備を基本に、観光の視点からも分かりやすく情報発信することが望まれる。</p>		
備 考			